

# 復興に駆ける！

第13号  
平成25年8月23日発行  
岩手県立生涯学習推進  
センター

## 一般社団法人 三陸ひとつなぎ自然学校 代表 伊藤 聡 さん 副代表 柏崎 未来さん



副代表の柏崎さんと代表の伊藤さん

釜石出身の伊藤さんは、地元で働きながら、若者達が中心となった「小さな風」というグループに所属し、10年近く市民活動に参加していた。発災当時は、釜石市根浜海岸近くの「宝来館」の従業員として働いていた。宝来館では、グリーンツーリズムの企画運営、広報が主な業務であった。いずれは釜石で、観光を柱にした事業を展開したいという想いを温めていた。柏崎さんも釜石出身で、高校卒業後、野外教育を

学びに北海道の大学に進学した。将来釜石に戻って自然学校を開きたいと考えていた柏崎さんは、卒業後、自然体験活動の運営に定評がある北海道の「NPO法人ねおす」に就職し、プログラムの運営方法などを学んでいた。震災発生の翌日にはフェリーに飛び乗って釜石に戻った柏崎さんは、被災地支援活動を始めた。被災地支援活動をきっかけに、いずれは釜石で事業を起こしたいと考えていた2人が知り合い、2012年4月「三陸ひとつなぎ自然学校」を立ち上げたのである。

伊藤さんは主に、支援活動に観光の要素をプラスしたボランティアツーリズム「エコツアー」を担当している。釜石の歴史文化、郷土料理、自然などに親しむプランをお客さんのニーズに合わせ、一つひとつオリジナルなものとして提案している。昨年12月まで、49団体延べ1,000人以上が参加したマンモスツアーである。一方の柏崎さんは主に、子どもの居場所作りを重点にした「さんつなくクラブ」を担当している。週末や長期休暇を利用して自然をフィールドに行う体験活動と、仮設住宅にいる子どもたちのための「放課後子ども教室」の運営を行っている。仮設で辛い思いをしている子どもたちが、少しでも笑顔になれるようにと、この放課後子ども教室は無料で行っている。



放課後子ども教室の様子

二人とも釜石に強い愛着をもち、「釜石に多くの人に訪れてもらい、地域の方が誇りを持って、釜石で生活し続けていく手助けをしたい」と話していた。釜石復興の展望は明るい。

### 連絡先

一般社団法人 三陸ひとつなぎ自然学校  
TEL 0193-55-4630  
Email: hitotsunagi.main@gmail.com